

トヤツシユレス派。

大地震がきたら
どうなるんだ？

おしやれって
さっと出来ない。
わたし、
耐えられるかな。

揺れる怖さが
まだわからない

若い世代の言葉で、
震災・防災を語る。

なんとなく
やることが
なくて、
ボランティアを
する自分について。

リメンバー 117

プロジェクト

阪神・淡路
大震災
30年

「特別」なの？
防災にもものすごく
関心がある僕は、

家族と、面と向かって
地震の話を出来たこと
はない、けれど。

プロに直接
編集・広報を
学べます。

WEBメディアの

取材編集・広報メンバー募集

募集期間

2025年
2月14日 まで [金]

募集人数

20名 程度

※もしも応募が多数の場合、
選考させていただきます。

大学コンソーシアムひょうご神戸
The Consortium Universities in Hyogo

兵庫県
Hyogo Prefecture

初回ミーティング (予定)

2025年2月27日(木) @ 兵庫県庁内会議室 (予定)

若者による「震災の教訓を繋ぐプロジェクト」

僕たちの言葉で、「あの日」を考える。「これから」を考える。

リメンバー 117 とは

30 年前の阪神・淡路大震災を経験していない世代にとって、その真実はなかなか理解しづらいもの。そこで若い世代自らがテーマを決め、取材をし、文章や動画で当時の真実、今の私たちにとって必要なことに迫ります。「実際に揺れを経験してみたい」「持っている防災グッズは本当に役に立つの?」「キャッシュレス生活でも大丈夫?」「避難所暮らしでもお洒落はできるの?」。これらは震災 25 年時に大学生が取材したテーマのほんの一例。自分の正直な感覚をベースに、さまざまな人に取材をし、さまざまな体験をし、そして自らの言葉で語る、そんなプロジェクトです。多くの若い世代のご参加をお待ちしております。一緒に震災と防災について考えましょう。

募集要項

【募集対象】 防災・減災に関心のある 18~25 歳の個人で、県内に在住または通学・通勤している方

【募集人数】 20 名程度を予定しております

【募集期間】 2025 年 2 月 14 日 (金) まで

【活動内容】 阪神・淡路大震災 30 年特設サイト「feel and think」・SNS の企画、取材編集、広報

【活動期間】 2025 年 2 月~ 2025 年 10 月

【活動場所】 兵庫県内各地 (※活動に必要な交通費をお支払いします)

<近日中の予定>

2025 年 2 月 27 日 (木) 17 時 30 分~19 時 30 分 初回ミーティング

場所: 〒650-0011 兵庫県神戸市中央区下山手通 5-10-1 兵庫県庁

(神戸市営地下鉄「県庁前」駅下車すぐ、JR 西日本・阪神「元町」駅西口下車北へ徒歩約 8 分)

以降、毎月 1 回 (平日) 17 時 30 分~19 時 30 分 (予定) に編集会議を開催 (場所: 神戸市内)。

※回数は活動状況により変更する場合があります。

※編集会議の他、取材など、各広報チームに合わせた活動を行います。

▼応募はこちらから



【申込締切】 右記 QR コードのホームページ内「プロジェクトメンバー募集」

入力フォームからお申し込みください

※募集締切後、兵庫県担当職員よりご連絡させていただきます

※応募多数の場合は選考をさせていただき、締切より 2 週間以内にお知らせします

お問い合わせ

ひょうご安全の日推進県民会議事務局 (兵庫県危機管理部防災支援課内)

〒650-8567 神戸市中央区下山手通 5-10-1

【TEL】 078-362-4424 【FAX】 078-362-4459 【E-mail】 bosaishien@pref.hyogo.lg.jp